



秋川牧園

株主通信 夏号



代表取締役社長

秋川 正

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社第44期連結会計年度の事業の状況と今期の方針につきまして、
ご報告申し上げます。

Q 前期の連結業績についてお聞かせください

前期の売上高は、対前年比で +6.5%と引き続き拡大することができました。前期は飼料を中心に、
雛、包材、エネルギー、運賃など幅広い品目で値上がりが進行了ましたので、値上げの実行が利益の確保
という面では重要テーマとなりました。おかげ様で顧客の理解をいただく中で、適切に値上げを実
行することができています。日本全体では、物価高によって消費者の節約シフトが徐々に進んでい
ると思いますが、そのような環境下においても、卸販売及び直販の双方で売上増を確保できたことは、
この間のブランド戦略の効果が大きな力になっているものと評価しています。この売上増要因に加
えて、飼料価格の高騰に対する飼料価格安定基金からの補填金や行政からの補助金の収入が当初の
予想を上回ったため、結果として利益は計画を上回り、前期並みの水準で着地することができました。

Q 今期の経営環境をどのように認識していますか？

また、今期の事業の方針についてお聞かせください

コロナ禍が終息したことで、よりいっそう顕在化したことは日本の人手や人材不足の問題で
す。そのことに対する多くの経営者の危機感が、この春の高い賃上げ水準に結び付いたわけ
です。この人の不足を背景にして、今後も様々な品目で値上がりを持続していく可能性が高ま
っていると思います。その一方で、いよいよ日本の人口減少が本格化する段階を迎えており、国内
市場の縮小が国内企業の販売面で大きな影響を与えつつあります。

そのような厳しい環境であるからこそ、私たちとしては今年3年目となる中期計画にそって、
ブランド力と成長力の強化に注力することが重要であると考えています。特にチキンナゲット
や焼き鳥など、当社の冷凍食品はこの間高い成長率を維持しており、収益性に加えて、秋
川牧園と消費者の新たな出会いの創出によるブランド効果でも重要な役割を果たして
います。今後も設備面、人材面の双方から冷凍食品の事業基盤を強化していきたいと考
えています。



▲23年3月に、より製造能力が高いフライヤーに更新。



▲23年3月に販売を開始した、「鶏とおからのチキンナゲット」

決算のポイント

冷凍加工食品を中心に販売が好調、製品の値上げ効果もあり売上高は増加。飼料価格の高騰に伴い、飼料価格安定基金からの補填金収入、地方自治体からの補助金収入もあり経常利益段階では増益に。

業績ハイライト

	第41期 ('19.4~'20.3)	第42期 ('20.4~'21.3)	第43期 ('21.4~'22.3)	第44期 ('22.4~'23.3)
売上高 (百万円)	5,790	6,417	6,638	7,070
営業利益 (百万円)	94	265	115	19
経常利益 (百万円)	121	288	237	242
当期純利益 (百万円)	71	169	159	156
1株当たり当期純利益 (円)	17.23	40.77	38.27	37.43
総資産 (百万円)	5,082	5,378	5,593	6,073
純資産 (百万円)	1,733	1,920	2,035	2,138

Q

現在、直販事業の新物流センターを建設中ですが、そのねらいをお聞かせください。

直販事業の商品受け入れ、在庫保管、箱詰め、出荷、会員サービス事務などを担う新センターの建設が、12月の完成に向けて進んでいます。秋川牧園の直販事業は、前期は17億円の売上規模となりましたが、これは3年前と比べると6割の成長となります。そして、今後10年スパンの目標としては、40億円という事業規模を目指しています。その実現のためには、ブランド力の強化を筆頭に、宅配サービスの強化、品揃えの拡充、デジタル領域の強化など多くの課題がありますが、その一つとして設備インフラの強化が必要となっていました。今回の投資によって、手狭になっているスペース面の制約を解決し、同時に箱詰めなどの業務の品質及び生産性の向上や働く社員の環境改善なども実現してまいります。



▲新センター完成イメージ図

「はじめての農園セット」のご案内

秋川牧園では、自社で生産した鶏肉を中心に「精肉・たまご・自社加工の冷凍食品・野菜・牛乳・乳製品」などをご家庭にお届けする会員販売を行っております。ご入会前に、商品をお試しいただけるお得なセットをご案内しております。詳しい内容は秋川牧園ウェブサイトにごアクセスいただくか、右記のQRコードよりアクセスください。



▲はじめての農園セット
お申し込みはこちら

同封しております「あきかわさんの春だより」は、会員様を中心とした消費者のみなさまに配布しておりますが、株主のみなさまにも秋川牧園のことを知っていただければと思い、同封させていただきました。お楽しみいただければ幸いです。

会社の概況 (2023年6月27日現在)

本社所在地 山口県山口市仁保下郷10317番地

設立 1979年5月25日

資本金 7億1,415万円

上場証券取引所 東京証券取引所
スタンダード市場

事業所

本社及び工場 山口県山口市仁保下郷10317番地

大阪事業所 大阪府茨木市太田1-1-25

役員

代表取締役会長	秋川 実
代表取締役社長	秋川 正
取締役	田村 次郎
社外取締役	内田 恭彦
社外取締役	小野 典子
常勤監査役	山根 史浩
社外監査役	江藤 龍夫
社外監査役	宇佐美 理世